

平成 28 年 7 月 5 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋 2 丁目 7 番 1 号

太陽生命は、「太陽の元気プロジェクト」を始動しました！

～「従業員」「お客様」「社会」を元気に照らす『「太陽の元気」宣言』～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中 勝英）は、平成 28 年 6 月より「太陽の元気プロジェクト」を開始したことをお知らせいたします。

当社は、これまで生命保険を提供することでご家庭のお客様に「安心（保障）」をお届けしてきましたが、『健康寿命の延伸』という社会的課題にこたえるために、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」を推進してまいります。

1. 背景

少子化により総人口が減少していく中であって、65 歳以上のシニアの人口は増加を続け、10 年後には総人口の約 30%を占めることが見込まれるなど、我が国は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えます。また、2025 年には、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症になるとも言われています^(※1)。

このような社会環境の変化にともない、健康で元気に長生きすること、すなわち『健康寿命の延伸』が大きな社会的課題となっています。

当社は、創業以来、時代の変化を先取りして、ご家庭のお客様のニーズに合った最先端の保険商品・サービスを提供してまいりました。そして、本年 3 月より生命保険業界で初めて、健康に不安のある方でも加入できる、認知症による所定の状態を保障する保険「ひまわり認知症治療保険」を発売し^(※2)、4 月からは、専門知識を有する内務員がお客様を直接訪問して保険金や給付金等のお支払い手続きをお手伝いさせていただく「かけつけ隊サービス」を開始するなど、シニアにやさしい生命保険会社としての取組みを実施しております。

これらの取組みに加えて、当社は、『健康寿命の延伸』という課題にこたえるため、「太陽の元気プロジェクト」を全社的に展開し、「従業員」が元気になる、「お客様」を元気にし、そして「社会」を元気にする様々な施策を推進してまいります。

(※1) 厚生労働省「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）」より。

(※2) 簡単な告知により加入できる選択緩和型の商品で、認知症について保障する保険は生命保険業界初となります（一般社団法人生命保険協会加盟 41 社について、当社で調べたものです（平成 27 年 12 月末時点））。



認知症治療保険 働けなくなったときの保険



2. 「太陽の元気」宣言

太陽生命は、「太陽の元気プロジェクト」により、従業員が元気になり、お客様を元気にし、そして社会を元気にする。この『元気のサイクル』を生み出すことをここに宣言します。

「太陽の元気」宣言

従業員を“元気”にします。

- ・従業員の健康増進を図り、一人ひとりがいきいきと働くことができる元気な職場を作ります。
- ・元気な職場で生まれる活発なコミュニケーションによって、新商品や新サービス等の新たな価値を創造します。

お客様の“元気”をサポートします。

- ・お客様の健康寿命の延伸をサポートするサービスを提供します。
- ・お客様の元気をサポートするために、従業員のサービス力を高めます。

社会の“元気”に貢献します。

- ・当社が保有するデータの活用によって、医療の進歩に貢献します。
- ・「元気・健康」に取り組んでいる企業・団体等を応援します。

代表取締役社長 田中 勝英

※「太陽の元気プロジェクト」の具体的な取組内容は、別紙をご参照ください。

3. 「太陽の元気プロジェクト」ロゴマークについて

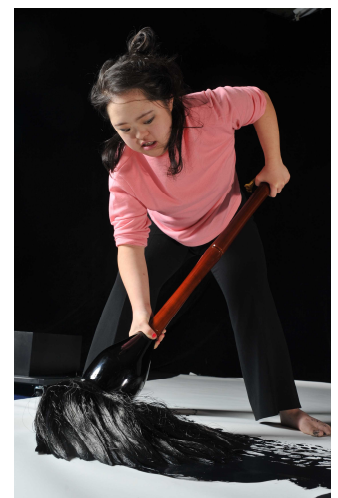
世の中を元気にするような、文字から元気が湧き出るデザインにしたいと考え、力強く躍動感のある「元気」の書を「太陽の元気プロジェクト」のロゴとしました。



太陽の元気
project

<執筆いただいた書家のご紹介>

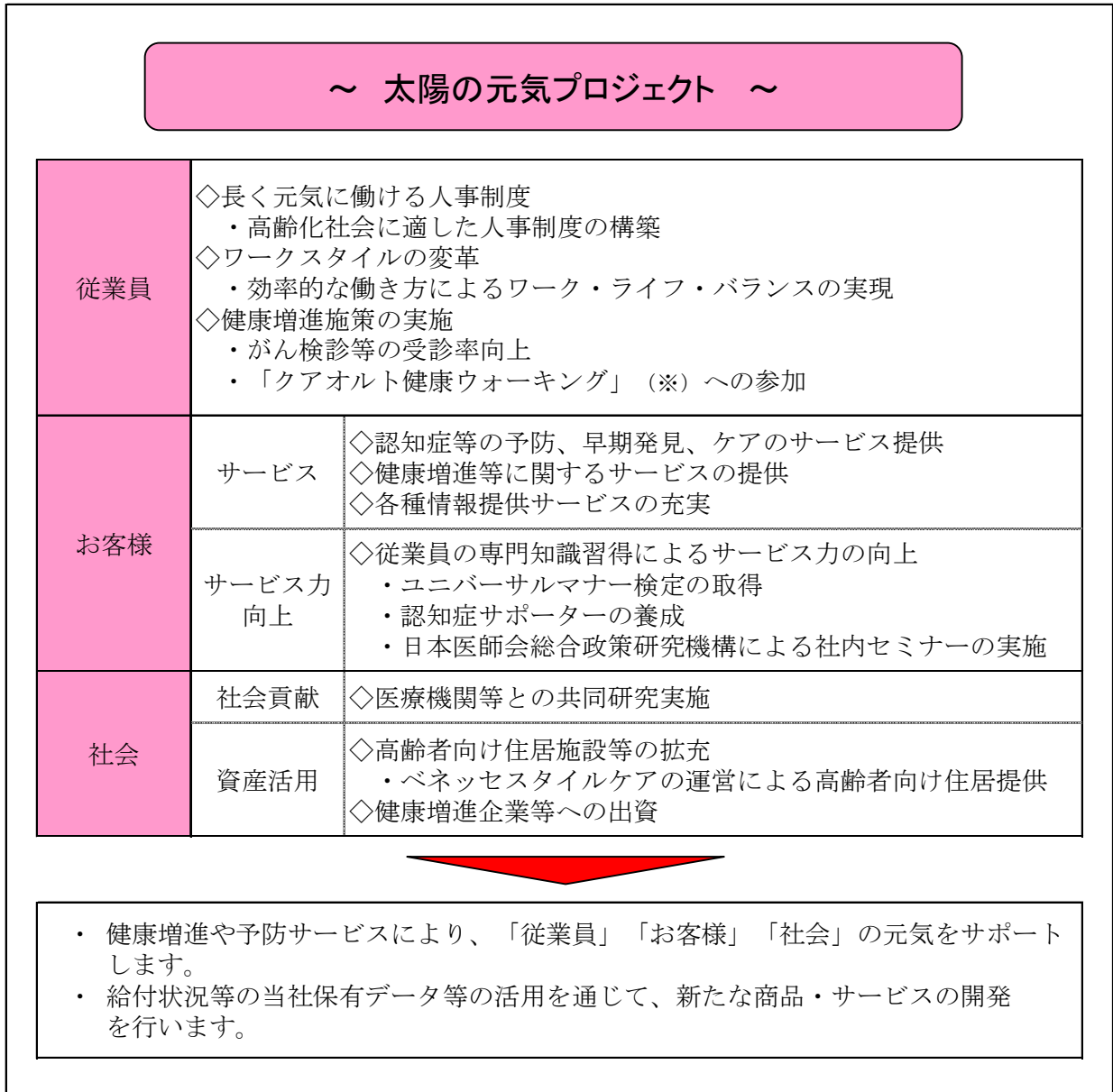
- ・書家 金澤 翔子さん
- ・1985年東京都目黒区に生まれ、5歳から書家の母に師事し書を始める。
- ・ダウン症のある天才書家として、20歳の時、銀座書廊で初個展を開催。その後、鎌倉建長寺、京都建仁寺、奈良東大寺で個展を開催。福島に「金澤翔子美術館」を開設。
- ・27歳の時、NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。翌年、国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。
- ・30歳の時には国連本部でスピーチを行い、ニューヨーク・チェコなどで個展を開催するなど、海外にも活躍の場を広げている。
- ・2016年日本福祉大学の准教授となる。



以上

当社は、「太陽の元気」宣言のもと、下記の具体的な施策を推進してまいります。

<取組イメージ>



(※) 「クアオルト健康ウォーキング」

クアオルトとは、ドイツ語で「療養地・健康保養地」を指す言葉です。

ドイツでは、クアオルトで疾病の治癒、緩和、予防等の療養が行われ、公的医療保険の対象となっています。

クアオルト健康ウォーキングとは、ドイツのクアオルトで心臓リハビリや高血圧の治療に活用されている自然の野山を活用した運動療法「気候性地形療法(野山の傾斜地+冷気と風の活用)」を基本とした健康ウォーキングであり、日本では、日本クアオルト研究機構により研究が行われ、山形県上山市ほか全国7つの自治体で実施されています。

また日本型のクアオルトを目指して8つの自治体が日本クアオルト協議会を組織し、クアオルト健康ウォーキングをはじめ様々な健康増進プログラムの取組みが行われています。